

【函館日吉福祉コミュニティエリア整備事業】

緑豊かな中央公園を囲うように、各施設を配置。
だれもが安心して、こころ豊かに過ごすことができるよう
バリアフリーに配慮した空間づくりを。
そして、にぎわいが生まれる工夫を随所に。

鳥瞰図



- 施設デザインは函館らしい洋館をイメージ
- 雪対策としてストッパールーフを採用
- 外壁はベージュ、屋根は黒やこげ茶を想定

- 個々の施設ボリュームはコンパクトに。
- 函館山を望むことができるよう南側を中心に、東・西側にも窓を配置

自然な見守り環境の構築

各管理部門の窓が中央広場に面するように施設配置を行うことで、管理スタッフが自然と中央広場を見守ることができるよう配慮します。

バリアフリーに対応した公園を

車椅子使用者、視覚障がい者、高齢者、認知症高齢者であっても安全に利用できるように、公園をバリアフリー化し、「みんなに優しい公園」となるよう配慮します。

多世代交流センターを中心部に配置

エリアに活気が生まれるよう、多様な人が出入りする住宅エリアやショッピングエリアと遊歩道をつなぎ、にぎわいが生まれるように配慮しています。

【介護施設】

- 1 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
- 2 地域密着型介護老人福祉施設 (29人以下特別養護老人ホーム)
- 3 認知症対応型共同生活介護
- 4 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 5 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 6 認知症対応型共同生活介護 (看護小規模多機能型居宅介護を併設)

エリアに活気を生み出す“楽しい”遊歩道

保育園側にある街区公園と自然な繋がりを持たせる遊歩道を敷設。ストリートアスレチック器具やベンチを置き、子どもの笑い声が生まれるなかで、高齢者も一緒に適度な運動ができる空間となるよう配慮します。

敷地内動線や騒音を考慮した幹線道路対策

給食の配送、リネン関連のサービスなどを安全に行えるよう、市道に平行してサービス用道路を敷地内に敷設。また隣接の保育園側のリスク低減のため、地域密着型特養の西側にも敷設します。市道山の手日吉線は、将来的に交通量が増えると予想されるため、騒音を考慮して居住部分を極力離して配置しています。

【多世代交流施設】

- 1 コミュニティサポートセンター
就労支援センター
活動室・会議室/
インキュベーションスペース
多目的スペース
キッチンスタジオ (配食センター)
コミュニティ・カフェレストラン
調剤薬局
- 2 メディカルモール
- 3 集合住宅
託児所

配置図